緊急輸送道路 橋梁耐震補強マップを公表

国直轄 19年度で概ね完了へ

九地整

国土交通省九州地方整備局は、直轄国道と都道府県管理道路に架かる橋梁の補強状況と、19年度末時点の進ちょく見込みを地図に表した「緊急輸送道路の橋梁耐震補強マップ」を、2日からインターネットのホームページ（http://www.mlit.go.jp/road/bosai/taisin/taisin.html）で公開している。進ちょくに合わせて定期的に更新する。

（9面に耐震補強3カ年プログラム・県別一覧表を掲載）

緊急輸送道路とは、大地震発生時に救助活動や緊急物資を運ぶための重要路線。近年、大規模地震などへの対応が指摘される中、緊急輸送道路の橋梁の耐震補強実施率は直轄国道・都道府県管理道路とも不十分な状況にある。

これを受け、各道路管理者と鉄道事業者が整備方法や工程を協議し、17－19年度の3カ年で耐震補強が完了できるようプログラムを策定。今後、同計画に基づき直轄国道は19年度までにおおむね完了、都道府県管理道路は主要な防災拠点などを結ぶ「優先確保ルート」を選定し、同じく19年度までに補強をほぼ終える予定となっている。

また、新幹線と高速道路をまたぐ橋梁についても、19年度までに補強を完了させる。九州の要対策橋梁数に対する16年度末時点での実施率は89％で、大部分を占める市町村道の橋梁に対しては、技術的支援を行うとともに、地方道路整備臨時交付金を活用するなどして、事業を円滑に推進する方針。

18年度予算（案）には、緊急輸送道路の橋梁補強事業費として1172億円、同様に新幹線・高速道路をまたぐ橋梁補強事業費として27億円を計上

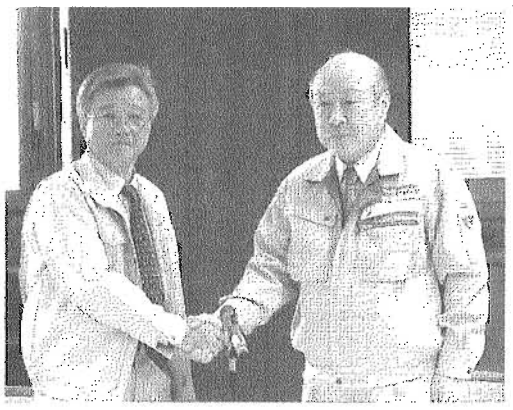
なお、九州内橋梁数は、直轄国道が504橋、都道府県管理道路が1082橋（うち優先確保ルート351橋）の合計1586橋（同855橋）。都道府県管理道路が107橋（同64橋）の合計164橋（同121橋）で、16年度時点での実施率は40・5％となっている。

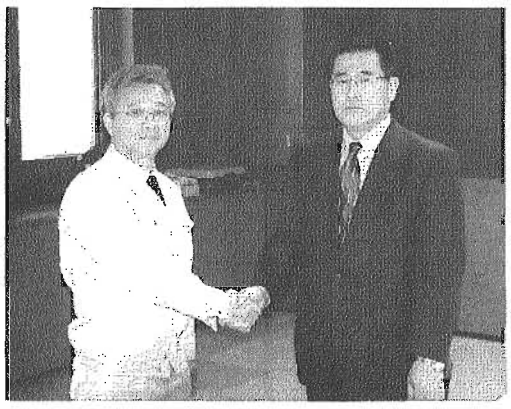
鹿児島土木と県建設業協会 鹿児島、谷山支部

大規模災害応急対策協定を締結

迅速な対応で可能に

県鹿児島土木事務所（郡山博昭所長）と県建設業協会の鹿児島支部（川畑俊彦支部長）、谷山支部（冨迫茂支部長）は3日、「大規模災害時における応急対策に関する協定」を締結した。県と県建設業協会が1月24日に結んだ大規模災害時の応急対策協定を踏まえたもので、締結による有効期間は19年3月31日までとなっている。





川畑支部長（上右）、冨迫支部長（下右）とそれぞれ調印後の握手を交わす郡山所長＝鹿児島市の県合同庁舎内で

同日は午前中に鹿児島支部、午後から谷山支部の順で締結。鹿児島支部から川畑支部長をはじめ、森山睦夫副支部長、木原一郎副支部長、池田安則副支部長、末吉晴海総務委員長、鮎川利朗工事委員長、吉丸義博労務委員長の役員が出席。午後からの谷山支部は冨迫支部長、三反田義光専務理事が出席した。

締結式では、協定書にそれぞれ調印した後、がっちりと握手。郡山所長は「これまで培ってこられた技術と地域貢献に対して県民も大いに期待している。今後もともに頑張りましょう」と挨拶。これを受けて川畑支部長は「今回の協定でこれまで以上に迅速な対応が可能になる。一致協力して取り組んでいきたい」、冨迫支部長は「県民の皆様が安心して生活できるよう努力していきたい」とそれぞれ決意を述べた。

伊集院土木と日置支部も

生活環境づくりに貢献

県伊集院土木事務所（中園梅義所長）と県建設業協会日置支部（西郷進一支部長）の「大規模災害時における応急対策に関する細目協定」締結式が3日、日置市の合同庁舎内で行われ両者が協定書に調印後、固い握手を交わした。

調印後、西郷支部長は「現在、いちき串木野市を含め約80社の支部会員が協力体制を確立している。今回の協定締結により、県との連携を一層深めながら大災害時ではのパトロールや支援・救助活動など率先して取り組みたい。われわれ業界への理解とともに、地域住民が安心して生活できる環境づくりに貢献したい」と決意を述べた。

調印後、固い握手を交わした関係者＝日置市の県合同庁舎内で

これを受けて中園所長が「近年の異常気象を含め、突発的な自然災害が各地で発生している。地域住民の生命や財産、生活を守るためには協会の協力が必要不可欠。初期活動を含め、大災害への迅速な対応や連携がスムーズにいくようお互い協力していきたい」と抱負を語った。

リビングスタイリスト資格試験

来月1日から受付け

日本ライフスタイル協会

日本ライフスタイル協会（東京）は、6月11日に「第3回リビングスタイリスト資格試験（2級）」を実施する。同資格は、新築やリフォームの際、店頭で商品の説明や提案するセールスアドバイザー（リビングスタイリスト）。試験科目は販売・商品知識。会場は仙台・東京・名古屋・大阪・岡山・福岡。

受験料5700円。受け付け期間（4月1日から5月6日）。

問い合わせは、同協会（☎03・5332・5125）まで。

人事・労務担当者のセミナー

16日、鹿児島市で

KER

－くらしと経営の相談所－㈱鹿児島地域経済研究所（KER）は16日午後1時30分から、鹿児島市の鹿児島銀行呉服町別館鹿児島地域経済研究所セミナールーム（3階）で、「人事・労務担当者のための法律知識と関連実務」をテーマにビジネスセミナーを開く。講師は社会保険労務士の江原充志氏が務める。定員は40人。

受講料は、KER会員1万円、一般1万5000円。

問い合わせは、同社（☎099・223・5299 FAX227・3025 Eメールkeisou@satsuma.ne.jp）まで。

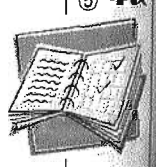
農免農道整備・南種子西部中央地区

20日、飯野橋開通式

農免農道整備事業・南種子西部中央地区「飯野橋」開通式は20日午前10時40分から、南種子町の現地で開かれる。なお、午前10時10分から安全祈願祭も行われる。

今回の工事内容は、西部中央地区16の2が上部工72・25m、16の3が上部工75・25mとなっている。

私の健康手帳 第44回 認知症⑤



「認知症」を予防し、予防させる

「認知症は遺伝するのか」という質問がよくあります。脳血管性の認知症を引き起こす生活習慣病である糖尿病、高血圧、高脂血症は親子の食生活が似ているという点では引き起こしやすいリスクはあるかもしれませんが、遺伝はありません。

アルツハイマー型も同様で、ごく少数例として家族性のアルツハイマーがありますが、ほとんどは心配する必要はないでしょう。

認知症を予防するには、まずは生活習慣病の予防をし、規則正しい生活、おっくうがらずにできるだけ体を動かす、趣味を持つ、ひとりで過ごさず、友達や家族など、できるだけ人と一緒にすごすこと、などが大切です。

認知症の心配のあるお年寄りと暮らしている場合は、できるだけ孤独にさせず、家族がまめにコミュニケーションをして、できるだけ予防しましょう。都合で遠方にひとり暮らしさせている場合は、こまめに連絡を取り合うことなどの工夫が必要です。

そして、もしも認知症の疑いを感じたら、まずは認知症の専門医に診断を受けましょう。そのときは既往症や過去にかかったことのある病気なども含め、できるだけくわしい本人の生活状態を告げてください。

いざ介護となったら、お年寄りと言っても人生の先輩。決して赤ちゃん言葉を使ったり、見下すようなことをしてはいけません。

「受け入れて、納得させる」のが対応の基本姿勢ですが、言うは易し、行うは難しで、家族の工夫と努力は欠かせません（今回で「認知症」については終了です）。

監修 パールランド病院 院長 猪鹿倉忠彦先生